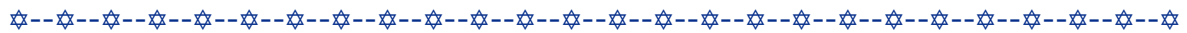




いまさら聞けないウクライナ戦争シリーズ #6

自ら墓穴を掘るプーチン大統領

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。世界というのは、ゆっくりゆっくり変わっているとも言えるのですが、目に見える変化が一度起こり出すと、一瞬にして変わってしまうということも言えると思います。

あの武漢ウィルス、コロナの問題がありました。あれでもう、私たちのライフスタイルは一変したのではありませんか。コロナが現れる前と後で、世界の在り方がずいぶん変わったと思います。

それと同じように、ウクライナ戦争の前と後、まだ戦争は終わってませんが、この戦争の勃発で世界はずいぶん変わってしまいました。

いったい世界はどこに向かっているんでしょう。

この世界の行く末について、聖書は前から預言しているのです。

聖書は道徳について語っているのではありません。これは神のことばです。

時間の座標軸を超えて、未来の末の末まで見通しておられる神のことばです。

前もって神のことばを知っている人たちは、その預言のことばを信じ、それを指標にします。そして、預言通りにそのまま実現するのを見て、ますます創造主に対する信仰を固くするわけです。

終末預言では、世界はどこに向かっているのでしょうか。

聖書によると、やがて全人類は、人類史上最も過酷な時代に突入して行きます。

その時代は7年間続きます。あまりにも過酷なので「**難難時代**」と呼ばれています。

難難時代はいきなり始まるのではなく、始まる前にいくつかの前兆があり、それらがみな揃った後でないと起こりません。

それらの前兆の中で、現在まだ起こっていないものの1つが**エゼキエル戦争**です。

旧約聖書の**エゼキエル書**に詳しく預言されているのでエゼキエル戦争と呼ばれますが、その内容をひと言で言うと、ロシアがトルコやイランなどいくつかの同盟国を率いて、イスラエルに襲い掛かるというものです。

では、イスラエルを襲撃する理由は何でしょうか。

エゼキエル書にその理由も書いてあるんですね。

終末時代になると、ロシアは何らかの原因で、非常に困窮する国になっている。

そして、イスラエルは何らかの原因で、非常にリッチな大金持ちの国になっている。

ロシアが困窮した時、イスラエルの富を収奪するために、いくつかの連合国を率いてイスラエルに入ってくる。これがエゼキエル戦争です。

長い間、それは非常に分かりにくい、実現しにくいことのように思われていました。

ロシアは普通にしていけば非常に豊かな国だからです。
面積が広い。地球陸地の 1/9 はロシアで 1700 万km²。日本の国土の 45 倍。
冥王星の表面積に匹敵するそうです。太陽系の準惑星に匹敵するような広さですよ。
世界最大の面積を誇る国ロシア。

その広大な大地の下には非常に潤沢な地下資源が眠っており、小麦輸出は世界一、
天然ガス生産は世界二位、石油生産は世界三位、そして金がザクザク採れる国。
普通にしていたら、非常にポテンシャルが高い国なんです。

すぐ近くには、地下資源を大量に必要とするユーザーのヨーロッパがあり、彼らに
輸出することによって経済成長発展は確実でした。
実際プーチン大統領が初めて大統領に就任した 2000 年から 2008 年くらいまで、
ロシアの経済成長は大体 7%を超えてたんです。
ところが、2014 年にクリミア半島を取って西側から経済制裁を受けた途端、2014
年からずっと経済成長 0.38%。ストップしてしまっただけです。

今や国益に大きなダメージを負うことになったロシアは、長期戦によってますます
その流れが加速しています。今日は 3 つ挙げましょう。

1) ウクライナ戦争の結果、旧ソ連の構成国であったウクライナ・モルドバ・ジョ
ージアの 3 か国が EU に加盟申請しています。早晚認められると思います。

2) 長らくロシアに対して中立だったフィンランドとスウェーデンが、NATO 加盟
を申請しています。

フィンランドもスウェーデンも軍事大国で、ロシアのすぐ近くに接している。
NATO に入ったらロシアを刺激するのではないかと恐れて入らずにいたのですが、
今回のウクライナ戦争を見て、そんなこと言ってもらえないということで既に加盟申
請し、フィンランドは正式に加盟が決まりました。

スウェーデンの方はトルコが反対しているので、今ペンディング状態ですが、最終
的には入ることになるでしょう。

フィンランドとスウェーデンが NATO に入るということは、北欧 5 か国が 5 つとも
NATO になる。更に、北極圏を取り巻く 8 か国のうち 7 つが NATO になる。
そして、バルト海に面している国はロシア以外全部 NATO 加盟国で、バルト海は
NATO の湖になってしまった。ウクライナを取ろうとした結果、ロシアは周りに危
機感を与え、ロシア包囲網が作られるというバカな結果になってしまったのです。

3) 経済の疲弊。これは経済制裁もありますが、決定的なのは半導体が入って来な
いことです。今やあらゆる製品に半導体が入っていて、“産業の米”と言われてま
すね。今収録しているこのカメラにもマイクにも iPad にも、また家電製品にも、も
ちろんハイテク軍事製品にも兵器にも入っています。

半導体が入って来ないため、ロシアの工業は現在ガタガタの状態です。

戦争前、ロシア国内には自動車工場が 30 ありました。今は 3 です。
あとは全部動かない。組み立てることができないんです。

そして、兵器を次々戦場に送らなければならないのですが、必要な半導体がない。
そこで、ロシアは冷蔵庫を分解し、家電製品の IC を取り除き、それを兵器に転用
しているというのです。おびただしい数の解体された家電製品が、山のようにうず
高く積み上げられている写真も散見されますね。

すなわち、ロシアは工業国としての未来がなくなったということです。
西側のサプライチェーンから切られてしまったために、ロシアは困窮の一途をたど
っていることになるのです。

エゼキエル書 38 章 1～3 節

次のような主のことばが私にあった。「人の子よ。メシェクとトバルの大首長である、マゴグの地のゴグに顔を向け、彼に預言せよ。『神である主はこう言われる。メシェクとトバルの大首長であるゴグよ。今、わたしはおまえを敵とする。』

マゴグはロシア。これは前回の動画で説明したとおりです。
神がマゴグに敵対する。なぜ敵対するのかというと、マゴグが丸呑みするために襲
い掛かって来るから。何を丸呑みするのか。イスラエルです。
その様子を不思議な表現で描いてるんですね。

エゼキエル書 38 章 4 節

わたしはおまえを引き回し、おまえのあごに鉤をかけ…

あごに鉤をかける。これは、魚が餌に思いっきり食らいついた時、餌の中に隠れて
いて見えなかった針が、顎の奥深くまでグサツと突き刺さる様子なんですね。
この場合、餌はイスラエルを表しています。イスラエルに食らいつこうとしたため
に引っ張り上げられ、陸に上げられて料理されてしまう魚のようだ。

これが実現するためには、ロシアが困窮することと、イスラエルが途方もなくリッ
チな国になることが実現していなければなりません。
イスラエルは、今はまだ世界有数の金持ち国とは言えませんが、ロシアの困窮は私
たちの目の前で現在進行形で起こっています。
ウクライナ戦争の結果、ロシアは大ダメージを受けて、困窮の一途をたどっている
んですね。

ウクライナ戦争とエゼキエル戦争は別物です。
しかし、ウクライナ戦争を通して、エゼキエル戦争の条件が一つ一つ出来上がりつ
つあると言えると思います。私たちはエゼキエル戦争に近い時代に生きている、と
も言えるでしょう。これは取りも直さず、エゼキエル戦争の後に起こる艱難時代に
近づいていると言えるのです。

私たちは終末時代に生きています。

聖書預言と時代を見ることで、目に見えない創造主の神、歴史を支配しておられる方が確かにおられることを確認することができますと思います。

ぜひ聖書預言を通して、あなたの造り主のことを考え、この方を信じてください。

チャンネル登録もお願いします。ではまた ごうちゃんねるでお会いしましょう。皆さん、お元気でいらしてください。さよなら！

☆引用；日本聖書刊行会『聖書 新改訳 2017』いのちのことば社,2017☆